

渋沢栄一史料館見学記録



2017年12月1日

メンバー 川崎の産業観光を支援する会

若井伸枝、加藤節子、大矢一彦、石毛武雄、上野隆
根岸雅明 の6名。

根岸雅明 記

2017.12.2

川崎の産業観光を支援する会

根岸雅明 記

東京飛鳥山公園内にある渋沢栄一史料館の見学

【概要】川崎の産業観光を支援する会の会員の若井さんの呼びかけで東京の王子駅の近くにある飛鳥山公園内の渋沢栄一史料館の見学に参加しました。

渋沢栄一は日本の資本主義の父と言われた人物だそうです。500社ほどの企業の設立にかかわり日本の産業を大いに発展させた人物です。経済活動を活発にさせて人々を豊かにして国を富ませることが必要だと考えていたそうです。あわせて経済活動をするうえで欠かせないのは論語、道徳だと唱えていました。仁義、道徳と利益を増やしつつ経済活動を盛んにする「道徳経済合一説」を声高に唱えた人物だったそうです。「論語と算盤」が欠かせないと唱えていました。多くの企業にこのDNAを伝えていった人物でもあります。

晩秋から初冬の公園内の落ち葉を踏みながら仲間たちとおしゃべりしながら史料館で渋沢栄一はどんな人物だったか、学んできました。以下はその記録です。

【日時】平成 29 年 12 月 1 日（金）9:00～13:30

【メンバー】若井伸枝、佐藤節子、石毛武雄、大矢一彦、上野隆、根岸雅明の 6 名。

【地図】



【内容】 渋沢栄一とはどんな人物かと問われればなんとなく「論語と算盤」を唱えていて、
過って働いていた企業で先輩たちからこの言葉の薫陶を受けていた事しか知識はあ
りませんでした。現役時代では安全、品質、工期が最優先でそれから金（利益）を
考えろと言われた覚えがあります。利益は企業が成長するためには一番だと思いま
したが、まずは論語だというのが凄いなと感じていました。

史料館に入るとまず三色の色（白、青、赤）を示したら入場料が2割引きになる
とのことでした。これはフランスの国旗の色ですね。渋沢栄一が1867年パリ万国博
覧会に幕府の一員として同行した日から150年という記念の特別展からの計らいな
のだと知りました。入場料300円のところ60円引きの240円で入場できました。史
料館の粋な計らいですね。

館内は飲食及び撮影禁止でした。渋沢栄一の銅像や紹介ビデオ、パネルなどを順
次見ながら渋沢栄一を学びました。

渋沢栄一の出身地は埼玉県の深谷の血洗島という地名です。大矢さんが血洗島と
は凄いな地名だなと言って調べたところ赤城山のムカデ？伝説からきているらしいと
のことでした。何かの戦いで血を洗ったとか。地名の詳細はよくわかりませんでした。
た。

栄一は幼少のころから決起盛んな少年のようでした。高崎城の乗っ取り計画や倒
幕運動にも熱が入っていたようです。その後一橋家の徳川慶喜に出仕して慶喜の弟
の昭武に従い欧州へ同行しました。

渋沢栄一は約1年半ほど欧州で見聞を広めて、その後の日本での活躍がこの視察
の礎になっているのだなと理解しました。やはり、国内だけではダメで若い人はも
っと海外に出ることが必要だなと皆さんと話しました。

写真で見る渋沢栄一はとても温厚で将棋の加藤一二三さんの「ひふみん」を思わ
せるような風貌でとても優しい表情でした。

企業、産業界だけの活躍だけでなく多くの大学（一橋大学、日本女子大学、東京
女学館）らの教育や福祉にも関わり多大な貢献してきたようです。

川崎方面での関係では浅野総一郎が官営の深川セメントを買収して川崎の地に工
場を移したことは知られていますが、この計画も渋沢栄一の援助で実現したもので
す。石毛さんの話では京急の社史にも渋沢栄一の名前が沢山出ていると話されてい
ました。知れば知るほど面白い人物だなと思いました。

史料館のあと、庭園内にある渋沢栄一が外国の賓客をもてなす晩香廬の建物や青
淵文庫の建物を見学しました。

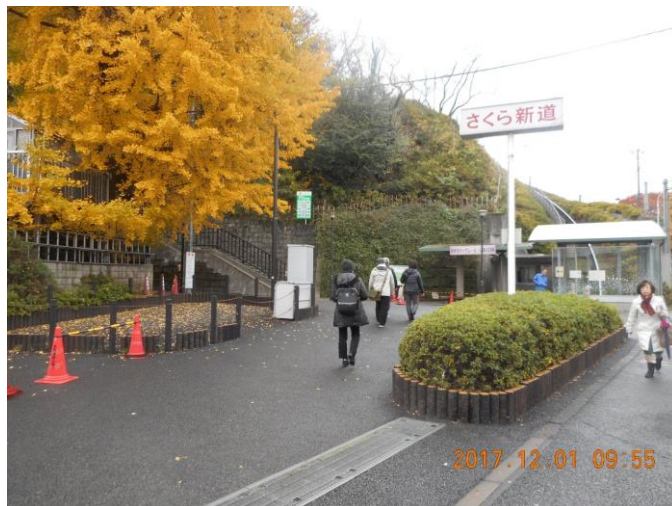
庭園内の茶店で桜うどんセットをいただきました。うどんの中に桜の花の塩漬け
が入っていました。飛鳥山の桜を印象つけた料理なのでしょうね。こんなちょっと
した工夫も嬉しくなりました。

食事後、紙の博物館を見学。ここは王子製紙の発祥の地でもあり渋沢栄一もかか

わりがありました。

飛鳥山公園内のイチョウの見事な黄葉や十月桜、ツツジの帰り花（狂い咲き）などを眺めておしゃべりをして帰りはパークレールに乗りJR王子駅へ。とても寒い日でしたがいい散歩と見学会でした。

【写真】



王子駅から歩いてすぐにある飛鳥山公園入口。桜新道と書いてある看板のところからパークレールの乗り口。帰りに上から利用しました。小さなモノレールという感じの乗り物。エレベーターの代わりですかね。





石碑がありました。飛鳥山の地名の由来などが書いてありました。



散策路の両サイドの桜の木の葉は落ちていました。



見事な紅葉、黄葉ですね。



桜が咲いていました。狂い咲きではなく十月桜だそうです。



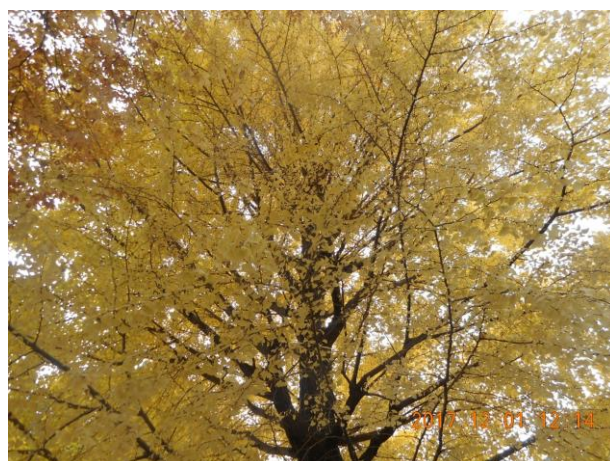
館内は撮影禁止でした。



晩香廬



青淵文庫



庭園内の黄葉がどこも見事でした。若井さんのお勧めで北区にある紅葉巡りで旧古河庭園も行ってみたいと思いました。



紙の博物館



このパークレールに乗って降りました。エレベーターと同じで自動運転です。年寄りには助かる乗り物ですね。市民はこれを利用して飛鳥山を散策するのですね。楽しい一日でした。